

有機農業・山口農園 法人化から16年 苦難からたどり着いた7分業制

宇陀市 有限会社山口農園 代表取締役 山口貴義さんに聞く

有限会社山口農園(宇陀市榛原大貝332)が法人化したのは、平成17(2005)年3月。圃(ほ)場面積は10万5000平方メートル、ハウスの数は165棟。ハウス内での有機農業一筋に、数々のシステムづくりを手掛けてきた代表取締役山口貴義さん(48)は、農業では珍しく生産、調整など7部門の分業制による従業員58人の組織を作った。同農園の研修生を次々と独立させ、地域の遊休地・荒廃地を無くし、行政から高い評価を受けている。また新規就農者を独立支援する山口農園グループの取り組みが1昨年、優良経営体の担い手育成分野で農林水産大臣賞を受賞した。年間を通して10種の有機野菜を着実に消費者に送り届け、コロナ禍にあっても収益を伸ばし続けている。「グループで全国展開し、有機野菜の産地リレーをしたい」と目を輝かせる山口さんに、将来ビジョンなどについて聞いた。



「なぜ有機農業をやる決心をしたのですか。」

元々民間企業でサラリーマンをしていたのですが、結婚を決意したとき当時ブラック企業から脱出するため地方公務員試験を受け、平成9(1997)年に県庁職員になり、翌年には農家の2人姉妹の長女の妻と結婚しました。

もともと義父がやっている農業の形が、農業や化学肥料を全く使わない有機農業でした。その姿を見て、有機農業なら人間の身体には安全・安心だし、農業で地域や環境を守る素晴らしい仕事だと思っていました。

「山口さんに何か変化があったのですか。」

家業を企業にすることでなかなか理解を得られず、義父と何度も衝突を繰り返しました。このままでは家族崩壊になると思い、平成20(2008)年に山口農園を退職して、農水産資材を開発・販売する大手農産資材会社に就職したのです。

山口農園の従業員は25人の組織になっていましたが、社内に人が絡む問題が多発しており義父や義弟から何度も「帰ってきてほしい」という電話があったんです。再就職した会社は、毎日が楽しくもありません。しかし、嫁さんの実家でもあり放っておけないと思いましたが、一つだけ戻る条件を付けました。

「その条件とは。」

それまで会議はなく、いわゆるワンマン経営だったんですけど、それが上手くいかない原因だと分かっていたので、月次会議をつくって、そこで決めたこと中心に

その義父からある日突然「一緒に会社を立ち上げてくれませんか」と声が掛かって色々悩んだ結果、6年間務めた県庁職員を辞めました。

「新鮮野菜の早朝の収穫は大変だったのですか。」

朝といったら3時とか、4時なんですね。昼間は暑いので昼寝してらんです。夕方また仕事をしだすと、袋詰めたとかが終わったら夜中なんです。そこからまた朝3時、4時でしょ。正直農業はしんどいだけの仕事だと思っていました。どうせやるんやったら組織にしないといけないと思

「それが、会社立ち上げの条件だったのですか。」

そうですね。分業制にして、若い人でも参入できるように農園、会社というのをつくりたいというのが、僕の思いでした。有機農業で環境とか安心・安全はもちろんですけど、魅力ある農業をして職業選択の一つに農業を考えるような組織にしないといけないと思

「身も人間関係も充実したわけですね。」

帰ってきてからしばらく経営体制や受注システムづくりを中心に行いました。平成25(2013)年1月に代表取締役に就任

「平成23(2011)年に戻り、中

3)年1月に代表取締役に就任



ハウス内での有機野菜の収穫作業

「会社を立ち上げて、ご苦労も多かったのですか。」

いろんなことがありました。野菜を有機農法で作るといっても、もちろん大変なんです。ただ、僕はそれよりも大変だったのは、この田舎で家業というのを企業にするというのが大変で、家族と地域の理解を得るのに本当に苦労しました。家族や地域からすると、農業は家族や地域の方がするというのが常識で、人が増えルール作りをするのは、当初反発や拒絶反応がありました。

「1年間の収穫量とか市場については。」

1日5000パックを収穫します。年間になると2200〜2300トです。市場は全国でオーガニック専門店とか、有機野菜を取り扱っているお店であるとか、小売店とか、レストランとか。最近では大手量販店でも専用コーナーを設けて頂くようになりました。

「それで、現在の山口農園の生産品の特長は。」

会社にする時に、葉物野菜に絞ったのですが品目の柱はホウレンソウ、コマツナ、シロナ、春菊、サラダ水菜、ワサビ菜、ベビーリーフ、ルッコラ、チンゲンサイ、大和マナの

10種類の葉物野菜を柱に全国展開

10種類です。

有機野菜の葉物野菜というのは積算温度600度ぐらいで収穫できるので年間にしたら4、5回とれるんです。無農薬なので、虫害で全滅しても種を蒔き直せば再度収穫ができるのでリスクヘッジで葉物にこだわったということ。会社にするのを思ったなら、当然フニンクコスト、固定経費というのが要りますから。



山口農園の従業員の皆さん

地域循環型農業のシステム構築

—どのような付加価値が実現するか。

弊社の圃場は有機JAS認定を100%取っています。実は100%有機JASは全国的にあまりないのです。そういうところが弊社のブランドですし、付加価値です。

—農業人を育成する学校も運営されているか。

「オーガニックアグリスクールNARA」という名前です。有機農業をやる人を育成したいのですが、なかなか独立できる人がいません。そこで、この有機農業をやる農家さんを仲間を増やせないか、ということでご平成25(2013)年に山口農園グループというのを発足させました。

グループを発足させたのは、有機農業で新規独立できない理由を逆にこっちが支援してあげたら、独立してやっていけるのと違うかというのを思いつきました。理由はたくさんありますが、例えばこのJASで難しいのは、申請してもすぐには取れないのです。有機JASというのは、そもそもその土地自体に葉が残っていたらダメなんです。最低、僕らの農業でも2年間土づくりをしないといけないというところは、2年間無収入で土づくりをしないといけないのです。

そこで考えたのが、弊社は学校をやっているんで、お借りしている土地を学校の学生圃場としてやれば、学生さんは有機的な野菜を作って管理をします。2年間土づくりをしないといけない



袋詰めされたJAS認定の有機野菜

フードロスにも対応、数年後に販売会社設立も視野に

—この期間を、学生圃場というシステムにしました。農業はいろんな支援があるんですけど、それには地域に認められるということが大事なことです。

人・農地プランという国が将来の担い手を地区ごとに選任して、その者を中心に地域を守るという事業があるのです。外から来たものが地域にすぐに溶け込むことは難しいので、山口農園が担保になり地域に紹介するのは、その中心経営体という位置づけに認定され、いろんな支援が受けられるようになるのです。

—安心・安全、環境問題、フードロスの問題などSDGsについての考え方はどうですか。

SDGsには17の開発目標があって、実は有機農業は10個達成しています。国が有機農業を推奨する方向で、緑の食料システム戦略というのを今年策定したのを受けて、大手農業機器メーカーさんから有機農業について話をもちかけられました。

—農地の循環機能ですね。

作ることに専念でき、地域ももウィン・ウィンの関係、環境も守られる。グループに入る条件としては、有機農業であることとパッケージは山口農園のデザインで作って、というものです。パッケージが統一されることは、規格が一緒になるということですね。

—最後に、将来の山口農園のプランを。

通常廃棄してしまうC品の商品化と、B級品以下の市場をつくるための新しい企画や展開をする販売会社組織を数年後につくろうと思っています。中期的なビジョンとしては、グループを全国展開して有機野菜の産地リレーをしたいです。欠品が全くない、いろんなものがそろっているのが付加価値にもなると思います。長期的なビジョンは、日本はほとんど人が減っていますが、世界は人口がどんどん増え続けます。特に元気な東南アジアに現地法人を立ち上げ弊社のような仕組みを持つオーガニック市場を作ることです。そうすることが環境保全になり、次世代が住める地球へと繋がっていくと考えています。

—農地の循環機能ですね。

作ることに専念でき、地域ももウィン・ウィンの関係、環境も守られる。グループに入る条件としては、有機農業であることとパッケージは山口農園のデザインで作って、というものです。パッケージが統一されることは、規格が一緒になるということですね。

—最後に、将来の山口農園のプランを。

通常廃棄してしまうC品の商品化と、B級品以下の市場をつくるための新しい企画や展開をする販売会社組織を数年後につくろうと思っています。中期的なビジョンとしては、グループを全国展開して有機野菜の産地リレーをしたいです。欠品が全くない、いろんなものがそろっているのが付加価値にもなると思います。長期的なビジョンは、日本はほとんど人が減っていますが、世界は人口がどんどん増え続けます。特に元気な東南アジアに現地法人を立ち上げ弊社のような仕組みを持つオーガニック市場を作ることです。そうすることが環境保全になり、次世代が住める地球へと繋がっていくと考えています。



教育部担当の「アグリスクール」講習会

県で認定機関として認められているのは、県の農業大学校と弊社だけなのです。きっちりした2年間のカリキュラムが必須で、天候が左右する農業では2年間のカリキュラムを事前に作るのには通常難しいので、農家が研修機関というのは全国的にも非常に珍しいのです。

—最後に、将来の山口農園のプランを。

通常廃棄してしまうC品の商品化と、B級品以下の市場をつくるための新しい企画や展開をする販売会社組織を数年後につくろうと思っています。中期的なビジョンとしては、グループを全国展開して有機野菜の産地リレーをしたいです。欠品が全くない、いろんなものがそろっているのが付加価値にもなると思います。長期的なビジョンは、日本はほとんど人が減っていますが、世界は人口がどんどん増え続けます。特に元気な東南アジアに現地法人を立ち上げ弊社のような仕組みを持つオーガニック市場を作ることです。そうすることが環境保全になり、次世代が住める地球へと繋がっていくと考えています。

—分業制の一つである教育部の役割は。

教育部では学校もやっています。半年の学校を年に2回やっています。普通は卒業したら関係なくなるんですけど、国の研修生制度を活用しています。それは次世代人材投資事業という事業で農業をやりたいといった人は、その個人に対して年間150万円支援するという制度です。原則研修2年と独立後5年の合わせて7年も続く政策です。

ただ研修を受けた者は国が認める指定の研修機関でしか研修ができないもので、研修機関としての認定が厳しくて、奈良

62,000円貯金

※5年間で一般家庭の平均使用電力モデルケース(月450kWh、当社調べ)

ならでん 可能です。

NARA ELECTRIC POWER Co., Ltd.

お電話ならこちら!! (家計が助かる) 母 ニッコリ Webならこちら!!

0120-088250

ならでん

〒639-2261 奈良県御所市城山台587番地の3
[小売電気事業者 A0133(法人番号 4150001020029)]

公共施設など高圧電力も供給実績多数。どんなご質問もお問い合わせください。

http://www.naradenryoku.jp

今すぐ!ご自宅の電気使用量を確認してください!

5年間の電力コスト削減実績

月350kWh ▶ 約36,000円	月550kWh ▶ 約87,000円
月450kWh ▶ 約62,000円	月650kWh ▶ 約110,000円

※削減額は2020年10月改定の関西電力価格との比較から算出した目安です。